消防年報

令和５年版

流山市消防本部

流山市消防本部の理念

「協調　協力　協働」

は　じ　め　に

消防は市民の生命、身体及び財産を守り、市民の方々が安心して住める街づくりを推進するため、消防力の充実強化はもとより、鋭意消防行政の進展に取り組んでおります。

この年報は、令和５年中における流山市の消防現勢と諸資料を収録する一方、併せて消防の概況を紹介し、その実態をご理解いただくことを目的に編集しました。

掲載した内容につきましては、暦年をもって収録したものですが、予算については年度をもって作成しました。

令和６年６月

流山市消防本部

流山市消防歌

♬この制服の誇らしさ

作詞　柏木謙介
作曲　高橋良雄

1　筑波の肩に陽が昇り
富士の向うに陽が落ちる
美しいまちながれやま
住む人々の幸せを
この手で守る生き甲斐に
この制服の誇らしさ
固い友情団結で
走れサイレン赤色灯
消防・救急・救助隊

2　歴史が生きてる町角も
木の香の薫る町並も
伸びてゆくまちながれやま
人のいのちの尊さを
自分が守る使命感
この制服の誇らしさ
あってはならぬ災害に
いつも備えを怠らぬ
予防・警防・指令室

3　静かな流れ江戸川も
運河の風も睡る頃
なごやかなまちながれやま
家々の灯よおだやかに
夢安らかにと見守って
この制服の誇らしさ
六方面に分け持って
二十三個の分団の
三百余名の消防団

流山消防本部応援ソング
勇気の翼～おおたか君のテーマ

作詞
作曲　ソノライフ

1　番

街中で輝いている　いくつもの
希望の星はそこから見えているかな

君にも覚えて欲しいことがあるんだ
命を守るオレンジの光

助けに行くから　怖がらず
唱えてごらんよ　魔法の数字を（119）

※もしも君が困ったなら迷わずに僕を呼んで
どんな時も駆けつけるよ　勇気の翼で
この街がいつも　いつまでも笑顔で溢れるように
何度だって飛び立つのさ　君のために

2　番

君の行く手を阻むものがあるなら
雨を降らして虹の橋をかけるから

悲しい涙のおとは聞きたくないんだ
この手で繋ぐ　未来への道を

難しい言葉じゃないからさ
声に出してごらん魔法の数字を（119）

もしも君が苦しいなら迷わずに僕を呼んで
どんな時も見守ってる大きな瞳で
この街がいつも　いつまでも笑顔で溢れるように
何度だって飛び立つのさ　君のために

例え翼が折れようとも
守りたいものが僕にはあるよ　だから
※（繰り返し）
何度だって飛び立つのさ　君のために

目　　次

１　概　要

流山市の概要・・・・・・・・・・・・・・1
人口の推移・・・・・・・・・・・・・・・1
消防の沿革・・・・・・・・・・・・・・・2
消防の推移・・・・・・・・・・・・・・・9

２　組　織

消防本部・消防署の組織・・・・・・・10
職員の配置状況・・・・・・・・・・・・11
職員の勤務年数・・・・・・・・・・・・11
職員の年齢・・・・・・・・・・・・・・12
職員の教育訓練・・・・・・・・・・・・13
職員の休暇・・・・・・・・・・・・・・13
職員の公務災害・・・・・・・・・・・・13
市予算と消防予算・・・・・・・・・・・14
消防予算と人口比較・・・・・・・・・・14
令和５年度消防予算内訳・・・・・・・・14

３　消防力

消防機関配置図・・・・・・・・・・・・15
消防庁舎の現況・・・・・・・・・・・・16
職員の定数と実員・・・・・・・・・・・16
消防機械の配置（消防本部・消防署）・17
消防機械の配置（消防団）・・・・・・18
消防水利の現況・・・・・・・・・・・・19
ＮＢＣ災害対応資機材の保有状況・・・20
震災対策資機材の整備状況・・・・・・21
消防相互応援協定等の状況・・・・・・22

４　火　災

火災発生件数の推移・・・・・・・・・・23
用途別火災状況・・・・・・・・・・・・23
令和５年中の火災内訳・・・・・・・・・23
火災の発生状況・・・・・・・・・・・・24
月別火災発生状況・・・・・・・・・・・25
時間別火災発生状況・・・・・・・・・・25
出火原因別の火災件数等・・・・・・・26
３年間の火災原因　・・・・・・・・・・27
令和５年中の火災原因・・・・・・・・・27

５　救　急

救急出動件数の推移・・・・・・・・・・28
事故種別ごとの推移・・・・・・・・・・28
令和５年中の救急内訳・・・・・・・・・28
署別救急活動・・・・・・・・・・・・・29
救急車両の運行・・・・・・・・・・・・29
月別救急活動・・・・・・・・・・・・・30
時間別救急活動・・・・・・・・・・・・31
現場到着所要時間・・・・・・・・・・・31
年齢別救護・・・・・・・・・・・・・・32
事故種別傷病程度・・・・・・・・・・・32
高速道路出動件数・・・・・・・・・・・33

６　予　防

防火対象物の現況・・・・・・・・・・・34
中高層建築物の現況・・・・・・・・・・35
査察の実施状況・・・・・・・・・・・・35
建築同意・・・・・・・・・・・・・・・36
同意件数の推移・・・・・・・・・・・・36
危険物施設の現況・・・・・・・・・・・37
危険物施設の許可・・・・・・・・・・・37
各種の届出・・・・・・・・・・・・・・38
防火対象物定期点検報告制度・・・・・39

７　活　動

火災活動・・・・・・・・・・・・・・・40
火災防ぎょ活動・・・・・・・・・・・・41
火災以外の活動・・・・・・・・・・・・41
消防防災思想の普及・・・・・・・・・・42
起震車の活用・・・・・・・・・・・・・42
救助出動件数の推移・・・・・・・・・・43
事故種別ごとの推移・・・・・・・・・・43
令和５年中の救助内訳・・・・・・・・・43
救助活動・・・・・・・・・・・・・・・44

８　通信・気象

通信系統図・・・・・・・・・・・・・・45
消防無線機の配置車両・・・・・・・・・46
火災・救急出動覚知別内訳・・・・・・47
病院紹介状況・・・・・・・・・・・・・48

９　消防団

消防団の組織・・・・・・・・・・・・49
団員の実員・・・・・・・・・・・・・・49
機械器具置場の現況・・・・・・・・・50
団員の配置・・・・・・・・・・・・・・51
団員の年齢・・・・・・・・・・・・・・52
団員の勤務年数・・・・・・・・・・・52
団員の職業別構成・・・・・・・・・・53
年齢別入団員・・・・・・・・・・・・53
勤続年数別退団員・・・・・・・・・・53
消防団の活動・・・・・・・・・・・・54

総　括　表

消防の概要	面積（㎢）		35.32
	R2年国調人口（確定値）		199,960
	R5年12月31日常住人口		211,431
	R5年12月31日世帯		89,673
	消防本部		1
	消防署		4
	消防職員		207
	分団		22
	消防団員		275
火災	火災件数		32
		建物火災	18
		建物以外の火災	14
	損害見積金額（千円）		73,754
	建物焼失面積（㎡）		283.6
	火災による死傷者		7
	1万人当たりの火災件数		1.5
救急・救助	救急出動件数		10,843
		急病	7,578
		交通事故	532
	救護人員		10,069
	救助活動件数		129
消防水利	消火栓	公設	1,470
		私設	14
	防火水槽	40㎥未満	117
		40㎥以上	889
	その他		41
	計		2,531

	区分	本部・署	団
消防機械	消防ポンプ自動車	4	5
	水槽付消防ポンプ自動車	4	
	化学消防ポンプ自動車	1	
	梯子付消防ポンプ自動車	1	
	大型水槽車	1	
	救助工作車	1	
	救急自動車	8	
	全自動小型ポンプ積載車		6
	小型動力ポンプ付積載車		12
	指令車・指揮車・査察車	4	1
	起震車	1	
	資機材搬送車	1	
	水難救助艇	1	
	その他車両	12	
	計	39	24

通信用施設	消防用無線機	遠隔制御装置基地局		1	
		移動無線局	車載無線局	26	24
			その他無線局	66	
	警察専用回線				1
予算	消防予算（千円）			3,294,082	
		一般会計構成比（%）		3.8	
	消防費（円）	市民一人当たり		15,691	
		1世帯当たり		37,130	
対象物	防火対象物			4,677	
	危険物施設			133	
	中高層建築物			612	

1　概　要

流山市の概要

千葉県の北西部に位置し、東は柏市、西は江戸川を隔て埼玉県三郷市と吉川市、南は松戸市、北は野田市に接しています。首都圏北東部にあたり、都心から 25 km圏に位置しています。

本市は東西 7.96 km、南北 10.36 km、周囲 41 km、面積は 35.32 km^{2}からなる、水と緑の豊かな自然が息づく住宅文化都市です。平成 17 年 8 月 24 日には、東京都心との直結鉄道つくばエクスプレスが開業し、東京秋葉原と約 25 分で結ばれています。

人口の推移

（平成＝H、令和＝R）

区　分	面　積（k㎡）	世帯数	人　口	増加人口	1k㎡当たり	
					世帯数	人　口
H24 年	35.28	67,411	167,601	1,105	1,910	4,750
H25 年	35.28	68,663	169,461	1,860	1,946	4,803
H26 年	35.32	70,440	172,334	2,873	1,994	4,879
H27 年	35.32	72,578	175,923	3,589	2,054	4,980
H28 年	35.32	73,931	180,248	4,325	2,093	5,103
H29 年	35.32	76,465	185,071	4,823	2,164	5,239
H30 年	35.32	79,252	190,145	5,074	2,243	5,383
R元年	35.32	81,950	195,087	4,942	2,320	5,523
R2 年	35.32	84,683	199,920	4,833	2,397	5,660
R3 年	35.32	85,953	205,210	5,290	2,433	5,810
R4 年	35.32	87,988	209,099	3,889	2,491	5,920
R5 年	35.32	89,673	211,431	2,332	2,538	5,986

各年 12 月末日の常住人口

消防の沿革

昭和26年4月1日	流山町・新川村・八木村が合併し、江戸川町消防団(3団20分団535人)となる。
昭和27年1月1日	町名変更により流山町消防団となる。
昭和29年4月1日	3団を統合し、1団制となる。初代消防団長に水代健司氏が就任。
昭和31年2月11日	流山町消防団に日本消防協会竿頭綬が授与される。
昭和32年2月11日	流山町消防団に日本消防協会表彰旗が授与される。
昭和32年4月1日	北部地域の人口増に対応するため、第21分団を新設。
昭和35年9月1日	江戸川台団地の造成に伴い、同地内へ第22分団を新設。
昭和37年4月1日	松ヶ丘団地の造成に伴い、同地内へ第23分団を新設。
昭和38年11月28日	消防技術の向上を目指し、第1回流山町消防団ポンプ操法大会が南部中学校で行われる。
昭和38年12月10日	流山町で、郡下ポンプ操法大会が行われ、自動車の部で1位となる。
昭和39年1月20日	流山町消防団常備部を設置するため、加206番地の9へ消防庁舎の建設を開始。
昭和39年3月1日	流山町消防団常備部員を15人採用。翌日、千葉県消防学校へ派遣。
昭和39年4月1日	流山町消防団常備部を発足する。部員15人。水槽付消防ポンプ自動車1台を配置。
昭和39年5月30日	消防庁舎が竣工。（鉄筋コンクリート・軽量鉄骨2階建て延べ床面積354㎡）
昭和41年3月3日	流山町消防団に消防庁長官竿頭綬が授与される。
昭和41年4月1日	流山町消防団常備部を廃止し、同所に流山町消防本部・消防署が発足。初代消防長に石塚健氏（流山町助役事務取扱）同消防署長に福島義雄氏が就任。
昭和41年12月1日	北部地域の消防体制を充実するため、江戸川台東2丁目19番地へ江戸川台分遣所（合同）を開設。軽量鉄骨一部2階建て延べ床面積270.54㎡、消防吏員12人、水槽付消防ポンプ自動車1台を配置。
昭和42年1月1日	市制施行（県下20番目）
昭和42年4月18日	2代消防長に榎本清次郎氏（流山市長職務代理者事務取扱）が就任。
昭和42年5月20日	3代消防長に岩井茂雄氏（流山市助役事務取扱）が就任。
昭和42年12月25日	東部地域の消防体制を充実するため、名都借314番地へ東部分遣所（合同)を開設。軽量鉄骨一部2階建て延べ床面積275.2㎡、消防吏員12人、水槽付消防ポンプ自動車1台を配置。
昭和43年11月1日	救急業務を開始。
昭和44年4月1日	消防副士長制度を採用。

昭和45年4月27日	4代消防長に井上昇氏（八日市場警察署長）が就任。
昭和47年6月1日	初代消防団長の水代健司氏が勇退し、2代消防団長に池田譲吉氏が就任。
昭和47年11月13日	防火意識の高揚と安全な環境づくりを目指し、毎月13日を「市民防火の日」と定める。
昭和47年12月1日	社団法人日本損害保険協会から消防ポンプ自動車が寄贈される。
昭和48年4月10日	市と医師会との間に医療問題懇談会が組織され、救急業務に大きな前進となる。
昭和48年9月28日	消防団の機構改革（現分団を6地域に区分）を行い、方面制を編成する。
昭和48年10月3日	短波無線電話から超短波無線電話へ整備し、通信統制の円滑化を図る。
昭和49年3月7日	消防本部・消防団に消防庁長官表彰旗が授与される。
昭和49年4月1日	消防本部の機構改革を行い、総務課・予防課を設置し、消防本部の充実を図る。
昭和49年5月24日	都市消防体制の近代化を図るため、三輪野山110番地の1へ消防本部・消防署の庁舎が竣工する。鉄筋コンクリート3階建て延べ床面積1501.1㎡。
昭和49年9月15日	消防救急指令装置（Ｃ型）を導入。通信統制と消防活動の円滑化を図る。
昭和50年6月1日	保健センターが開設され、医師会に運営を委託し、休日診療体制が確立される。
昭和51年4月1日	4代消防長井上昇氏が勇退、5代消防長に杉村芳男氏（流山市教育次長）が就任。 消防本部の機構改革を行い、警防課を設置。
昭和51年12月1日	消防職員のコミュニケーションを図るため、「消防職員だより（60年10月号から＜さざなみ＞と改称）」を発刊。
昭和52年12月16日	社団法人日本損害保険協会から、救急自動車（ニッサン3Ｂ型）が寄贈される。
昭和53年1月1日	流山市消防音楽隊を14人で発足。
昭和53年4月1日	救急需要の増加に対応するため、救急隊を各署所に配置。
昭和53年9月1日	流山市第1回総合防災訓練を江戸川台小学校で行う。
昭和54年3月6日	流山市危険物安全協会と流山市防火管理者連絡協議会が合併し、流山市防火安全協会が設立される。
昭和54年4月1日	救助隊発足。
昭和54年11月30日	中高層建築物対策の一環として、はしご付消防ポンプ自動車（35.4m）を配置。
昭和56年5月24日	職員の健康管理と事務能率の向上を図るため、「4週5休体制」を導入。
昭和56年9月1日	消防行政担当区制度の活動を開始。
昭和56年10月1日	消防本部・消防署の機構改革を行う。2代消防署長に茂呂悌市氏が就任。

昭和56年10月22日　台風24号が来襲、市内の各地で被害が発生した。（床上浸水175棟、床下浸水1,083棟など被害総額76,562千円）

昭和57年4月1日　南部地域の消防体制を充実するため、鰭ヶ崎759番地へ南部分遣所を開設。鉄筋コンクリート2階建て延べ床面積465.1㎡、消防吏員13人、水槽付消防ポンプ自動車1台を配置。

昭和57年10月30日　消防音楽隊の制服を新調。

昭和58年4月1日　5代消防長杉村芳男氏が流山市監査委員事務局長に転出したため、6代消防長に吉野芳矩氏（流山市経済環境部長）が就任。
流山市消防20周年記念事業委員会を設置。

昭和59年3月1日　流山市消防旗を制定。

昭和59年4月1日　消防本部・消防署の機構改革を行う。

昭和59年12月4日　財団法人日本自動車工業会から、救急自動車（ニッサン2Ｂ型）が寄贈される。

昭和60年4月1日　北部地域の消防体制を強化するため、江戸川台分遣所を北分署に昇格し、平方原新田139番地の1へ開設。鉄筋コンクリート2階建て延べ床面積760.81㎡、消防吏員30人、水槽付消防ポンプ自動車・消防ポンプ自動車・救急車・連絡車を各1台配置。
消防署の機構改革を行う。

昭和61年4月15日　社団法人日本損害保険協会から、消防ポンプ自動車（ＢＤ－1型）が寄贈される。

昭和61年5月30日　自治省消防庁の主要事業の一つである「消防団活性化モデル事業」の団体に採択される。

昭和61年7月1日　消防団の活性化を推進するため、流山市消防団活性化推進検討委員会を設置。

昭和61年8月22日　第15回全国消防救助技術大会に、ロープ応用登はんの部で出場。

昭和61年12月15日　消防の中枢を担った指令業務を一層迅速・的確に行うため、最新の消防救急指令装置（Ⅱ型）を導入。

昭和62年1月10日　消防団員のコニュミケーションを図るため、「まとい」を発行。

昭和62年4月1日　2代消防団長池田譲吉氏が勇退し、3代消防団長に秋元浩司氏が就任。

昭和62年8月21日　第16回全国消防救助技術大会に、ロープ応用登はんの部で出場。

昭和62年11月10日　市民に対する防火意識の高揚を図るため、消防団ニュース「展望（Ｂ5版4頁）」を発刊。

昭和63年4月1日　東部地域の消防体制を強化するため、東部分遣所を東分署に昇格し、前ヶ崎449番地の1へ開設。鉄筋コンクリート2階建て延べ床面積763.11㎡、消防吏員30人、水槽付消防ポンプ自動車・消防ポンプ自動車・救急車・連絡車を各1台配置。
消防署の機構改革を行う。

平成元年2月9日	東分署の敷地内に、本格的な消防救助技術訓練塔が完成。
平成元年5月14日	常備消防発足25周年を記念し、県下消防音楽隊フェスティバルを開催。
平成元年8月25日	第18回全国消防救助技術大会に、ロープ応用登はんの部で出場。
平成2年1月1日	消防職員の定員166名となる。
平成2年4月1日	6代消防長吉野芳矩氏が退職し、7代消防長に斉藤勝夫氏（流山市助役事務取扱）が就任。また、2代消防署長茂呂悌市氏が消防次長に昇格したため、3代消防署長に古宮一夫氏が就任。
平成2年7月1日	8代消防長に柏木謙介氏（流山市福祉部長）が就任。
平成2年11月6日	幼年期からの火災予防思想育成を図るため、本市初の幼年消防クラブ2団体（平和台・江戸川台ひまわり幼稚園）が結成される。
平成3年4月1日	消防本部（1係増設）・消防署（南部分遣所は南分署に昇格）の機構改革を行う。 福祉消防推進のため、予防課に、女性消防吏員を採用配置。3代消防署長古宮一夫氏が退職し、4代消防署長に斉藤常昭氏が就任。
平成3年7月5日	南分署に救急車を配置。
平成4年3月26日	常磐自動車道流山インターが供用開始。
平成4年4月1日	消防署に、市民生活に役立つ「暮らしを守る消防隊」を配置。
平成4年6月10日	消防本部・消防署庁舎の増築工事竣工。（鉄骨2階建て延べ床面積102.6㎡）
平成4年11月1日	「完全週休2日制」を導入。
平成5年2月4日	消防署に大型水槽車（10ｔ）を配置。
平成5年4月1日	4代消防署長斉藤常昭氏が退職し、5代消防署長に根本英男氏が就任。消防職員の定員180名となる。
平成6年4月1日	9代消防長に茂呂悌市氏（消防次長）が就任。
平成6年5月1日	流山市常備消防30周年記念事業推進委員会を設置。
平成6年7月27日	財団法人日本消防協会から、救急自動車（トヨタ2Ｂ型）が寄贈される。
平成6年11月7日	流山市常備消防30周年記念式典を開催。 記念誌「明日に向かって」を発行。
平成7年1月17日	阪神・淡路大震災が発生。
平成7年9月5日	自治省消防庁の緊急消防援助隊に救急部隊1隊、消火部隊1隊、特殊部隊1隊及び隊員10人を登録する。
平成7年10月1日	本市初の消防団女性消防部が部員13人で発足。
平成7年11月22日	本市消防職員による第1号救急救命士（1人）が誕生。

平成8年4月1日　高規格救急自動車の本格的運用。

平成8年10月1日　消防組織法改正に伴い、流山市消防本部消防職員委員会を設置する。

平成9年2月8日　消防力の増強を図るため、「消防協力隊」を消防団退団者115名の人員で創設。

平成9年4月1日　10代消防長に根本英男氏（消防署長）が就任。
6代消防署長に田村清氏（予防課長）が就任。
消防本部・消防署の機構改革を行い、警防課を廃し、消防総務課（総務課）、予防消防課（予防課・警防課）、指令課の3課制とする。
消防署消防救助係を、消防係、救助係の2係制とする。

平成9年10月23日　第13回全国婦人消防操法大会に、本市消防団女性消防部員で編成した流山市婦人消防隊が出場し、優秀賞（銅メダル）を受賞。

平成10年11月10日　北分署に水難救助用ボート（ホーバークラフト）を配置。

平成11年4月1日　11代消防長に田村清氏（消防署長）が就任。
7代消防署長に田中晋氏（消防総務課長）が就任。

平成11年11月18日　はしご付消防ポンプ自動車（41.0m級）を更新整備し、消防署に配置。

平成12年5月26日　秋元浩司消防団長が、財団法人千葉県消防協会副会長並びに同協会東葛飾支部長に就任。

平成13年5月1日　消防職・団員被服等貸与規則を一部改正する。

平成13年8月1日　第37回千葉県消防操法大会に東葛飾支部代表として、本市消防団第13分団が小型ポンプ操法の部に出場。

平成14年4月1日　消防署組織の見直しを図り、2署2分署体制とする。
2署制に伴い、消防署を「中央消防署」に改称し、北分署を「北消防署」に昇格する。
北消防署に庶務係と予防係の2係を増設し、4係制とする。

平成14年4月1日　3代消防団長秋元浩司氏が勇退し、4代消防団長に小澤茂之氏が就任。

平成14年4月1日　東分署配置の高規格救急自動車の本格的運用。

平成15年5月7日　東葛飾北部地域救急業務メディカルコントロール協議会発足。

平成16年3月26日　財団法人日本消防協会から、消防団司令車が寄贈される。

平成16年4月1日　12代消防長に田中晋氏（消防次長）が就任。
消防本部組織の見直しを図り、消防総務課に警防係を加え3係制とし、予防消防課を予防課（2係）に改称した。
北消防署配置の高規格救急自動車の本格的運用。

平成16年6月1日　指令業務の一層の充実を図るため、最新の消防救急指令装置を導入し、本格的な運用を開始。

平成16年11月13日　流山市常備消防40周年記念式典を開催。

平成17年5月18日　水難救助艇（ゴムボート）を中央消防署南分署に更新配置。

平成17年7月1日　4代消防団長小澤茂之氏が勇退し、5代消防団長に加藤勝夫氏が就任。

平成18年4月1日　13代消防長に鈴木新一氏（消防次長）が就任。

平成19年4月1日　14代消防長に倉持義男氏（消防次長）が就任。
消防本部組織の見直しを図り、消防総務課を2係（総務係、管理係）にし指令課を消防防災課（災害対策係、指令1係、指令2係）に改称した。

平成19年8月22日　第36回全国消防救助技術大会に、基本泳法の部で出場。

平成20年4月1日　15代消防長に大越一夫氏（消防次長）が就任。

平成20年8月31日　第37回全国消防救助技術大会に、障害突破の部で出場。

平成21年4月1日　消防署組織の見直しを図り、4署体制とする。
4署制に伴い、東分署を「東消防署」に、南分署を「南消防署」に昇格する。
東消防署、南消防署に庶務係と予防係の2係を増設し、4係制とする。
南消防署に普通ポンプ車を配置。

平成21年8月21日　第38回全国消防救助技術大会に、障害突破の部で出場。

平成22年3月12日　総務省消防庁から、救助資機材搭載型車両を無償貸与され、第5分団に配置。

平成22年4月1日　16代消防長に高市豊勝氏（消防次長）が就任。

平成22年11月26日　社団法人日本損害保険協会から、小型動力ポンプ付軽消防自動車が寄贈される。

平成23年3月11日　東日本大震災発生。甚大な被害をもたらした東北地方での活動要請を国から受け緊急消防援助隊千葉県隊として3月14日～21日まで岩手県陸前高田市へ16名の職員を派遣し人命検索活動に従事したほか、福島県福島市に3月22日～4月8日、4月13日～21日まで24名の職員を派遣し救急搬送業務等に従事した。

平成24年4月1日　17代消防長に久保 明氏（消防次長）が就任。

平成24年6月1日　5代消防団長加藤勝夫氏が勇退し、6代消防団長に小倉邦裕氏が就任。

平成24年6月9日　流山中央ロータリークラブから指揮車が寄贈され、中央消防署に配置。

平成24年8月7日　第41回全国消防救助技術大会に、障害突破の部で出場し3位入賞。

平成24年10月27日　第34回千葉県消防音楽隊フェスティバルを流山市文化会館にて開催。

平成25年4月11日　6市（流山市・松戸市・市川市・野田市・鎌ケ谷市・浦安市）による千葉北西部消防指令センターの運用開始。

平成25年11月25日　消防団120年・自治体消防65周年記念式典が東京ドームで開催された。

平成26年2月5日　南消防署新庁舎が竣工し業務開始。

平成26年4月1日　消防職員の定員190名となる。
中央消防署救急隊を増隊し2隊とする。

平成26年8月27日　第43回全国消防救助技術大会に、はしご登はんの部、応用登はんの部、障害突破の部で出場権を獲得。（広島県で大規模な土砂災害が発生したため、全国大会中止。）

平成27年8月29日	第44回全国消防救助技術大会に、はしご登はんの部及び障害突破の部で出場し、はしご登はんの部で第1位、障害突破の部で第5位に入賞。
平成27年9月10日	台風18号による「関東・東北豪雨」で鬼怒川堤防が決壊。 消防庁長官からの出動の求めに基づき緊急消防援助隊千葉県隊として9月15日～17日まで茨城県常総市へ8名の職員を派遣し、人命検索活動に従事した。
平成28年8月24日	第45回全国消防救助技術大会に、障害突破の部で出場し2位入賞。
平成29年4月1日	18代消防長に北野 浩一郎氏（消防次長）が就任。
平成29年8月23日	第46回全国消防救助技術大会に、引揚救助の部、障害突破の部で出場し、障害突破の部で第8位入賞。
平成30年4月1日	消防職員の定員200名となる。
平成31年4月1日	第9分団と第10分団を統合し、22ヶ分団とする。 消防団員の条例定員を300名に改正。
平成31年4月1日	千葉県消防学校が市原市菊間783番地1に移転し供用開始。
令和元年5月1日	新元号「令和」施行。
令和元年6月30日	第38回東葛飾支部消防操法大会を流山スポーツフィールドで開催。
令和元年9月20日	台風15号により千葉県を中心に甚大な被害をもたらす。 「災害時における千葉県内市町村間の相互応援に関する基本協定」に基づき、9月20日～10月6日まで館山市に職員を派遣し、被災地での支援活動に従事した。
令和2年4月1日	消防職員の定員222名となる。 救急隊1隊増隊し6隊運用を開始。（中央消防署1隊、東消防署1隊、南消防署2隊、北消防署2隊）
令和2年11月1日	流山市消防庁舎建設基本計画策定。（消防本部・中央消防署移転事業）
令和3年1月6日	本市の人口が20万人に到達。
令和3年2月1日	10市（流山市・松戸市・市川市・野田市・鎌ケ谷市・浦安市・柏市・習志野市八千代市・我孫子市）による「ちば北西部消防指令センター」の運用開始。
令和3年4月1日	19代消防長に須藤 恭成氏（消防次長）が就任。
令和4年8月26日	第50回全国消防救助技術大会に、ロープ応用登はんの部で出場し、第3位入賞。
令和5年4月1日	6代消防団長小倉邦裕氏が勇退し、7代消防団長に梅澤一雄氏が就任。
令和5年10月1日	無人航空機（ドローン）運用要綱を制定し、有資格者6名にて運用を開始。
令和5年10月12日	千葉県で初めて警防活動技術大会が開催され、本市を代表して中央消防署消防隊が出場。

消防の推移

（昭和＝S、平成＝H、令和＝R）

区　分	署　等	職員定員	職員実員	ポンプ車	分　団	団 定 員	団 実 員	ポンプ車
S62年	4	154	139	7	23	356	350	12
S63年	4	154	149	8	23	356	350	12
H元年	4	154	150	8	23	355	350	12
H２年	4	166	147	8	23	355	345	12
H３年	4	166	161	8	23	355	338	12
H４年	4	166	162	8	23	355	326	12
H５年	4	180	164	8	23	355	329	12
H６年	4	180	167	8	23	355	336	12
H７年	4	180	169	8	23	355	348	12
H８年	4	180	169	8	23	355	342	12
H９年	4	180	167	8	23	355	340	12
H10年	4	180	168	8	23	355	330	12
H11年	4	180	166	8	23	355	333	12
H12年	4	180	164	7	23	355	335	12
H13年	4	180	166	7	23	355	330	12
H14年	4	180	166	7	23	355	321	12
H15年	4	180	167	7	23	355	321	11
H16年	4	180	168	7	23	355	318	8
H17年	4	180	167	7	23	355	303	7
H18年	4	180	163	7	23	355	309	7
H19年	4	180	165	7	23	355	306	7
H20年	4	180	169	7	23	355	297	7
H21年	4	180	172	8	23	355	308	8
H22年	4	180	173	8	23	355	309	8
H23年	4	180	175	8	23	355	312	8
H24年	4	180	178	8	23	355	307	8
H25年	4	180	178	8	23	355	305	8
H26年	4	190	184	8	23	355	303	8
H27年	4	190	183	8	23	355	306	8
H28年	4	190	185	8	23	355	310	7
H29年	4	190	184	8	23	355	309	7
H30年	4	200	187	8	23	355	311	6
R元年	4	200	191	8	22	300	300	6
R２年	4	222	197	8	22	300	297	6
R３年	4	222	203	8	22	300	281	6
R４年	4	222	204	8	22	300	280	6
R５年	4	222	207	8	22	300	275	5

各年12月末日

2　組　織

新消防本部・中央消防署　庁舎完成予想図

消防本部・消防署の組織

- 消防長
  - 消防次長
    - 消防総務課
      - 総務係（公印管守・人事・予算及び決算の調整・消防長会）
      - 管理係（企画・施設・消防統計・広報・消防団）
    - 予防課
      - 建築危険物係（建築同意・危険物許認可・設備規制）
      - 調査指導係（火災原因及び損害調査・査察・訓練指導・火災証明）
    - 消防防災課
      - 災害対策係（消防計画・防災安全対策・消防機械及び装備の研究・救急救助統轄）
      - 救急指令係（消防災害出動指令・救急隊員実習計画・火災警報・消防通信運用計画）
    - 中央消防署
      - 庶務係（公印管守・勤務配置・教養訓練）
      - 消防係（災害防ぎょ・現場広報・火災現場等の無線統制）
      - 救助係（救助業務・救助装備の点検整備・救助対象物調査）
      - 予防係（消防行政担当区・査察・火災原因及び損害調査・予防条例届出）
      - 救急係（救急業務・救急証明）
    - 東消防署
      - 庶務係（公印管守・勤務配置・教養訓練）
      - 消防係（災害防ぎょ･現場広報･救助業務）
      - 予防係（消防行政担当区・査察・火災原因及び損害調査・予防条例届出）
      - 救急係（救急業務・救急証明）
    - 南消防署
      - 庶務係（公印管守・勤務配置・教養訓練）
      - 消防係（災害防ぎょ･現場広報･救助業務）
      - 予防係（消防行政担当区・査察・火災原因及び損害調査・予防条例届出）
      - 救急係（救急業務・救急証明）
    - 北消防署
      - 庶務係（公印管守・勤務配置・教養訓練）
      - 消防係（災害防ぎょ･現場広報･救助業務）
      - 予防係（消防行政担当区・査察・火災原因及び損害調査・予防条例届出）
      - 救急係（救急業務・救急証明）
    - ちば北西部消防指令センター（消防災害出動指令）

（　）内は、主な事務の内容です。

職員の配置状況

区分		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
消防本部	消防長	1								1
	消防次長		1							1
	消防総務課			1	4	2	1	1		9
	予防課			1	2	4	1	1		9
	消防防災課			1	2	4	2			9
	計	1	1	3	8	10	4	2		29
消防署	中央消防署			2	5	8	8	6	27	56
	東消防署			1	6	6	6	2	12	33
	南消防署			1	5	9	6	2	19	42
	北消防署			1	5	9	6	3	18	42
	計			5	21	32	26	13	76	173
ちば北西部消防指令センター					1	4				5
合計 （うち女性消防吏員）		1	1	8	30 (1)	46 (1)	30 (1)	15	76 (3)	207 (6)

職員の勤務年数

区分	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
5年未満								64	64
5年以上10年未満						2	12	12	26
10年以上15年未満					5	22	3		30
15年以上20年未満					15	5			20
20年以上25年未満			1	2	7				10
25年以上	1	1	7	28	19	1			57
計	1	1	8	30	46	30	15	76	207

職員の年齢

区分	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
18歳								1	1
19歳								3	3
20歳								8	8
21歳								8	8
22歳								8	8
23歳								17	17
24歳								12	12
25歳								11	11
26歳								6	6
27歳							1	1	2
28歳						1	5		6
29歳							4	1	5
30歳						2	1		3
31歳						4	1		5
32歳						4	1		5
33歳						6			6
34歳						1			1
35歳					2	4	1		7
36歳						2			2
37歳						1	1		2
38歳					1				1
39歳					7				7
40歳					6				6
41歳						2			2
42歳					7				7
43歳					2	1			3
44歳					2	1			3
45歳				1					1
46歳									
47歳				3	2				5
48歳				1	2				3
49歳			1		1				2
50歳				4	1				5
51歳			1	4	1				6
52歳			1	1	3				5
53歳				1	3				4
54歳			1	1	1				3
55歳			3	3	3				9
56歳				2					2
57歳		1		2	1				4
58歳	1			3					4
59歳			1	3					4
60歳				1	1				2
62歳						1			1
計	1	1	8	30	46	30	15	76	207
平均（歳）	58.0	57.0	53.8	53.3	45.2	35.1	29.9	23.0	36.1

職員の教育訓練

区　　分		H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
消防大学校	幹部科	1		1	1	1	
	予防科		1				
	警防科						
	救急科						
	救助科						
	計	1	1	1	1	1	
千葉県消防学校	初任科	6	10	5	10	15	18
	専科・幹部（特別教育含む）	14	12	8	10	9	10
	救急科	2	8	2	6	9	8
	計	22	30	15	26	33	36
救急救命研修所		1	2	1	3	2	1
指導救命士養成研修所		1					1
合　　計		25	33	17	30	36	38

職員の休暇

区　分	年　次　休　暇		特　別　休　暇		計	1人平均
	日数	平均	日数	平均		
消防本部	388	11.1	423	12.1	811	23.2
消防署	2,134	11.4	2,381	12.7	4,515	24.1
計	2,522	11.4	2,804	12.6	5,326	24.0

令和5年3月31日付け退職者も含む

職員の公務災害

区　分	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
火　災						
訓　練					1	1
その他						
計					1	1

市予算と消防予算

区　　分		市予算	消防予算	比率(%)	前年度比較(%)
R元年度	当 初	60,067,000	2,052,848	3.4	▲ 2.1
	決 算	59,897,899	2,220,336	3.7	4.5
R2年度	当 初	69,835,000	2,177,835	3.1	6.1
	決 算	88,267,659	2,110,872	2.4	▲ 4.9
R3年度	当 初	71,170,000	2,221,802	3.1	2.0
	決 算	82,957,576	2,363,623	2.8	12.0
R4年度	当 初	73,010,000	2,610,387	3.6	17.5
	決 算	77,138,675	2,664,003	3.5	12.7
R5年度	当 初	85,613,000	3,294,082	3.8	26.2
	決 算	――――	――――	――――	――――

消防予算と人口比較

年 度	消防費 （千円）	人　　口	１人当たり(円)	世帯数	１世帯当たり(円)
R元年度	2,052,848	191,403	10,725	80,066	25,639
R2年度	2,177,835	196,652	11,075	82,881	26,277
R3年度	2,221,802	200,895	11,060	85,364	26,027
R4年度	2,610,387	206,137	12,663	86,521	30,171
R5年度	3,294,082	209,935	15,691	88,718	37,130

各年度４月１日の常住人口

令和５年度消防予算内訳

３　消　防　力

消防機関配置図

凡例
消防本部
消防署
分団
算用数字は分団名
野田市
利根運河
運河駅
東武野田線
北消防署
江戸川台駅
県道松戸・野田線
江戸川
県道守谷・流山線
初石駅
柏市
つくばエクスプレス
県道豊四季・高田原線
常磐自動車道
流山おおたかの森駅
埼玉県
豊四季駅
消防本部・中央消防署
消防団本部
県道流山・柏線
流山駅
流山セントラルパーク駅
平和台駅
東消防署
南柏駅
県道白井・流山線
国道6号線
JR武蔵野線
鰭ヶ崎駅
旧水戸街道
南消防署
JR常磐線
松戸市
南流山駅

消防庁舎の現況

（昭和=S、平成＝H）

区　　分	所 在 地	敷地面積	建物構造	延 面 積	建築年月日
消 防 本 部 ・ 中 央 消 防 署	流 山 市 三輪野山 1-994	1,666.98㎡	鉄筋 コンクリート造 3階建	1,656.72㎡	S49.5.24 H4.6.10(増築) H21.10.1(増築)
東 消 防 署	流 山 市 前 ケ 崎 449-1	2,747.00㎡	鉄筋 コンクリート造 2階建	763.11㎡	S63.3.25
南 消 防 署	流 山 市 南 流 山 3-9-6	1,163.90㎡	鉄筋 コンクリート造 3階建	1,523.26㎡	H26.1.15
北 消 防 署	流 山 市 美　　原 2-139-1	3,077.66㎡	鉄筋 コンクリート造 2階建	760.81㎡	S60.2.28

職員の定数と実員

（平成＝H、令和＝R）

区分	条例定数	実員									
		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計	再任用職員（定数外）
H28年	190		1	7	30	60	28	15	44	185	4
H29年	190		1	7	30	56	32	15	43	184	6
H30年	200		1	7	32	54	32	18	42	186	7
R元年	200		1	7	33	54	32	18	46	191	6
R2年	222	1	2	5	35	51	32	18	53	197	8
R3年	222	1	4	9	28	52	33	13	63	203	9
R4年	222	1	2	7	30	46	31	15	72	204	9
R5年	222	1	1	8	30	46	30	15	76	207	7

消防機械の配置（消防本部・消防署）

区分	種別	車名	免許区分	応援隊登録		級別	型式	登録年月日
				緊援隊	県広域			
消防総務課	連絡車	日産ＡＤバン	普通					H29.5.1
	連絡車	トヨタノア	普通					R2.10.1
予防課	査察車	日産ウイングロード	普通					H25.12.9
	査察調査車	トヨタヴォクシー	普通					H24.2.29
	指導車	ダイハツハイゼット	普通					H20.11.7
消防防災課	指令車	日産エクストレイル	普通					H26.6.16
	連絡車	トヨタヴォクシー	普通					H18.12.27
中央消防署	普通ポンプ車	日野デュトロ	準中			A2	CD-I 型	H22.2.18
	化学車	日野レンジャー	大型			A2	化学Ⅱ型	H23.12.16
	梯子車	日野KC－PR4FPDF	大型			A2	MLF H5-40R	H11.11.18
	救助工作車	日野レンジャー	中型	○	○		救助Ⅱ型	H21.3.13
	大型水槽車	日野プロフィア	大型		○	B3	Ⅱ型	H20.3.3
	高規格救急車	日産パラメディック	普通				高規格・4WD	H26.12.12
	高規格救急車(予備車)	日産パラメディック	普通				高規格・4WD	H25.11.26
	指揮車	トヨタレジアスエース	普通					H24.5.30
	連絡車	日産キャラバン	普通					H12.5.19
	連絡車	日産セレナ	普通					H29.7.3
	マイクロバス	トヨタコースター	中型					R2.5.27
東消防署	水槽付ポンプ車	日野デュトロ	準中	○	○	A2	CD-I 型	R4.11.16
	普通ポンプ車	日野デュトロ	準中		○	A2	CD-I 型	H31.1.15
	高規格救急車	日産パラメディック	普通	○	○		高規格・4WD	H30.1.16
	資機材搬送車	日野デュトロ	準中	○	○			R2.11.12
	連絡車	日産キャラバン	普通					H29.10.11
南消防署	水槽付ポンプ車	いすずフォワード	中型			A2	I-B 型	H22.2.18
	水槽付ポンプ車(予備車)	日野レンジャー	８ｔ限定			A2	I-B 型	H19.11.26
	普通ポンプ車	日野デュトロ	準中			A2	CD-I 型	H20.12.19
	高規格救急車	日産パラメディック	普通				高規格・4WD	H30.1.16
	高規格救急車	トヨタC－CABIN	普通	○	○		高規格・4WD	R5.1.11
	けん引車（ボートトレーラー用）	トヨタランドクルーザー	普通					H9.8.29
	ボートトレーラー	ソレックス					BOAT17F	H22.8.6
	水難救助艇	浜口ウレタンAU380W						H30.12.5
	連絡車	トヨタプロボックス	普通					R4.6.1
北消防署	水槽付ポンプ車	日野デュトロ	準中	○	○	A2	CD-I 型	R4.1.20
	普通ポンプ車	いすずエルフ	準中			A2	CD-I 型	H24.12.20
	高規格救急車	トヨタハイメディック	普通		○		高規格・4WD	R2.11.4
	高規格救急車	日産パラメディック	普通	○	○		高規格・4WD	R2.2.10
	高規格救急車(予備車)	トヨタハイメディック	普通				高規格・4WD	H21.11.12
	起震車	三菱キャンター	準中					H9.12.18
	連絡車	日産キャラバン	普通					H29.10.11

消防機械の配置（消防団）

	車　　名	種　別	登録年月日	ポンプメーカー	級　別	登録年月日
団本部	ダイハツハイゼット	積載車	H22.11.26	トーハツ	B－3	H22.11.26
	三菱パジェロ	司令車	H16.3.25			
第1分団	日野デュトロ	CD－I	H19.2.23	ＧＭいちはら	A－2	H19.2.23
第2分団	日産アトラス	全自動	H17.11.15	トーハツ	B－2	H17.11.15
第3分団	日産アトラス	全自動	H16.9.22	トーハツ	B－2	H16.9.22
第4分団	日産アトラス	全自動	H30.2.20	トーハツ	B－2	H30.2.20
第5分団	日産アトラス	救助資機材搭載型	H22.3.12	ラビット	B－2	H22.3.12
第6分団	トヨタ	積載車	R5.1.13	トーハツ	B－3	R5.1.13
第7分団	日野デュトロ	CD－I	H22.12.2	ＧＭいちはら	A－2	H22.12.2
第8分団	日産アトラス	積載車	H19.12.20	トーハツ	B－3	H19.12.20
第10分団	日産アトラス	積載車	H21.11.20	トーハツ	B－3	H17.11.15
第11分団	日産アトラス	全自動	H16.9.22	トーハツ	B－2	H16.9.22
第12分団	日産アトラス	積載車	H20.11.27	トーハツ	B－3	H20.11.27
第13分団	日産アトラス	積載車	H19.12.20	トーハツ	B－3	H19.12.20
第14分団	日野デュトロ	CD－I	H21.11.12	ＧＭいちはら	A－2	H21.11.12
第15分団	日産アトラス	積載車	H15.9.22	トーハツ	B－3	H15.9.22
第16分団	日産アトラス	積載車	H18.9.20	トーハツ	B－3	H18.9.20
第17分団	日産アトラス	積載車	H20.11.27	トーハツ	B－3	H20.11.27
第18分団	日産アトラス	全自動	H16.9.22	トーハツ	B－2	H16.9.22
第19分団	日産アトラス	全自動	H28.3.1	トーハツ	B－2	H28.3.2
第20分団	日産アトラス	積載車	H30.12.19	トーハツ	B－3	H30.12.25
第21分団	日野デュトロ	CD－I	H17.11.11	ＧＭいちはら	A－2	H17.11.11
第22分団	トヨタ	積載車	R5.1.13	トーハツ	B－3	R5.1.13
第23分団	日野デュトロ	CD－I	H21.1.20	ＧＭいちはら	A－2	H21.1.20

消防水利の現況

区分			中央消防署	東消防署	南消防署	北消防署	計
消火栓	公設	75mm	149	102	105	212	568
		100mm	137	77	75	103	392
		125mm	1		6		7
		150mm	142	35	35	93	305
		200mm	48	16	21	33	118
		250mm	5	3	13		21
		300mm	14	15		7	36
		400mm	3	14	3	3	23
	小計		499	262	258	451	1,470
	私設		11	1		2	14
	計		510	263	258	453	1,484
防火水槽	公設	20㎥未満	12	34	5	37	88
		40㎥未満	5	6	3	2	16
		40㎥以上	111	68	31	184	394
		小計	128	108	39	223	498
	私設	20㎥未満	1			1	2
		40㎥未満	5	4	1	1	11
		40㎥以上	186	72	119	118	495
		小計	192	76	120	120	508
	計		320	184	159	343	1,006
その他	プール・受水槽等		15	9	3	12	39
	河川・池等		1		1		2
	計		16	9	4	12	41
合計			846	456	421	808	2,531

ＮＢＣ災害対応資機材の保有状況

機器名					機器名		
防護服（着）	放射線防護消火服			4	除染剤散布器		2
	レベルA防護服（耐熱型を含む）			8	化学剤検知紙（冊）		
	レベルB防護服			16	有毒ガス検知管		1
	レベルC防護服			100	有毒ガス測定器		
呼吸保護具（式）	酸素呼吸器			5	可燃性ガス測定器		
	空気呼吸器			53	酸素濃度測定器		
	全面マスク			15	複合型ガス測定器		14
	半面マスク			175	化学剤検知器（台）	ハプサイト	
	吸収缶等	C災害対応用		10		ハズマットID	
		放射性ヨウ素対応		30		ガスID	
		防じんフィルター				HGVI	
測定機器（台）	個人用線量計	ガラスバッジ・フィルムバッジ				LCD3.3	1
		熱ルミセンス線量計				ケミプロ100	
		ポケット線量計		28		その他	
			中性子線測定可能		生物剤検知器（台）	バイオガーディアンシステム	
		その他				IBAC	
	放射線測定器（サーベイメータ）	空間線量計	電離箱式			スマートバイオセンサー	
			GM計数管式	7		ラピッドバイオアラート	
			シンチレーション式			バイオキャプチャー	
			中性子線用			その他	1
			その他		除染シャワー（歩行可能者用）		
		表面汚染検査計	GM計数管式	2	除染シャワー（歩行可能者・担架用）		
			シンチレーション式		除染シャワー（多人数対応用）		1
			その他		化学剤遠隔検知装置		
被除染者用簡易衣服					RI取扱事業所等の有無		有

震災対策資機材の整備状況

区分		資機材							
		のこぎり	大型バール	金テコ	剣先スコップ	ジャッキ	チェーンソー	エンジンカッター	ボルトクリッパー
消防署	中央消防署	9	20	12		5	2	1	2
	東消防署	5	12	8		4	3	2	1
	南消防署	4	11	8	1	2	1		1
	北消防署	5	10	9	2	4	2	2	1
	計	23	53	37	3	15	8	5	5
消防団	第1分団	6	4	5	3	1	1		
	第2分団	6	4	5	3	1		1	
	第3分団	6	4	5	3	1			
	第4分団	6	4	5	3	1		1	
	第5分団	6	4	5	3	1	1	1	
	第6分団	6	4	5	3	1			
	第7分団	6	4	5	3	1	1		
	第8分団	6	4	5	3	1			
	第10分団	6	4	5	3	1		1	
	第11分団	6	4	5	3	1			
	第12分団	6	4	5	3	1			
	第13分団	6	4	5	3	1			
	第14分団	6	4	5	3	1	1		
	第15分団	6	4	5	3	1		1	
	第16分団	6	4	5	3	1			
	第17分団	6	4	5	3	1		1	
	第18分団	6	4	5	3	1			
	第19分団	6	4	5	3	1	1		
	第20分団	6	4	5	3	1		1	
	第21分団	6	4	5	3	1			
	第22分団	6	4	5	3	1	1		
	第23分団	6	4	5	3	1	1		
	計	132	88	110	66	22	7	7	
合計		155	141	147	69	37	15	12	5

消防相互応援協定等の状況

１　隣接市との協定

協　定　市	締　結　年　月　日	改　定　年　月　日
松　戸　市	昭和２５年　６月２１日	令和　５年　９月３０日
野　田　市	昭和２６年１１月３０日	令和　２年１２月１０日
柏　　市	昭和３７年　２月２２日	令和　３年　１月１９日
埼玉県三郷市	昭和４４年　９月　１日	令和　５年１１月１７日

２　広域消防応援協定（千葉県下全市町村）

平成　４年　４月　１日（締結）
平成１５年　４月　１日（改定）
平成１８年　８月２２日（改定）

３　ガス漏れ事故防止対策に関する協定

流山警察署
東京電力（柏・野田）営業所　　昭和６０年　６月　１日（締結）
瓦斯１１事業所

４　茨城県高速自動車道等における消防相互応援協定

令和元年１０月　１日（締結）

５　千葉県消防広域応援隊（消防組織法の改正により毎年４月１日登録）

・消火小隊(東消防署水槽付ポンプ車)　１隊５名(緊急消防援助隊重複登録)
・消火小隊(北消防署水槽付ポンプ車)　１隊５名(緊急消防援助隊重複登録)
・消火小隊(東消防署ポンプ車)　１隊５名
・救助小隊(中央消防署救助工作車)　１隊５名(緊急消防援助隊重複登録)
・救急小隊(東消防署高規格救急車)　１隊３名(緊急消防援助隊重複登録)
・救急小隊(南消防署高規格救急車２号車)　１隊３名(緊急消防援助隊重複登録)
・救急小隊(北消防署高規格救急１号車)　１隊３名
・救急小隊(北消防署高規格救急２号車)　１隊３名(緊急消防援助隊重複登録)
・特別災害対応小隊(中央消防署大型水槽車)１隊３名
・後方支援小隊(東消防署資機材搬送車)　１隊３名(緊急消防援助隊重複登録)

６　鉄道災害時における鉄道軌道事業者と消防機関との連携に関する協定

平成２１年　３月３１日（締結）

７　災害時等における消防用水の供給支援に関する協定

令和　２年　４月２２日（締結）

８　災害時等における被害状況等の収集に関する協定

令和　４年　１０月１日（締結）

４　火　災

火災発生件数の推移

用途別火災状況

区 分	建物火災								林野火災	車両火災	その他火災	合計
	一般住宅	共同住宅	併用住宅	学校	倉庫	店舗	その他	計				
令和元年	4	4	1			2	2	13	1	5	1	20
令和2年	7	4				3	1	15		2	5	22
令和3年	3	6					1	10		6	9	25
令和4年	7	6		1		2	1	17		1	10	28
令和5年	6	7			1	3	1	18		6	8	32

令和５年中の火災内訳

火災の発生状況

区分		単位	令和4年	令和5年	比較	増減率(%)
火災種別	建物火災	件	17	18		5.9
	林野火災					
	車両火災		1	6		500.0
	その他火災		10	8		△ 20.0
	計		28	32	4	14.3
焼損棟数	全焼	棟	3	1	△ 2	△ 66.7
	半焼		1	2	1	100.0
	部分焼		2	4	2	100.0
	ぼや		11	13	2	18.2
	計		17	20	3	17.6
焼失面積	建物	㎡	609.1	283.6	△ 325.5	△ 53.4
	林野	a				
	その他	㎡	3,977.1	1,553.5	△ 2,423.6	△ 60.9
死者		人	2	1		
負傷者			6	6		
り災世帯	全損	世帯	5	3	△ 2	△ 40.0
	半損					
	小損		12	13	1	8.3
	計		17	16	△ 1	△ 5.9
り災人員		人	46	39	△ 7	△ 15.2
損害見積額（種別）	建物	千円	89,209	71,716	△ 17,493	△ 19.6
	林野					
	車両		419	1,651	1,232	294.0
	その他		27	387	360	1,333.3
	計		89,655	73,754	△ 15,901	△ 17.7
出火率(1万人あたり)		件	1.3	1.5	0.2	15.4

月別火災発生状況

区分	火　災　種　別　（件）				
	建 物	林 野	車 両	その他	計
1月	2			1	3
2月	1				1
3月	1			1	2
4月			1	1	2
5月	1				1
6月	2				2
7月			1	1	2
8月	4		1		5
9月			1		1
10月				1	1
11月	4		2	1	7
12月	3			2	5
計	18		6	8	32

時間別火災発生状況

区分	火　災　種　別　（件）				
	建 物	林 野	車 両	その他	計
0～1時				1	1
1～2時	1				1
2～3時	1				1
3～4時					
4～5時					
5～6時					
6～7時	1				1
7～8時			1		1
8～9時	1				1
9～10時	3				3
10～11時	1		1		2
11～12時					
12～13時			3		3
13～14時	1			2	3
14～15時			1	1	2
15～16時	1			1	2
16～17時	2			2	4
17～18時					
18～19時					
19～20時	1			1	2
20～21時	4				4
21～22時					
22～23時	1				1
23～24時					
不　明					
計	18		6	8	32

出火原因別の火災件数等

火災種別	主な原因	件数	焼損棟数 全焼	焼損棟数 半焼	焼損棟数 部分焼	焼損棟数 ぼや	焼損 建物 ㎡	焼損 車両 台	焼損 その他 ㎡	損害見積額（千円）	死傷者（人） 死者	死傷者（人） 負傷者
建物	たばこ	1				1			0.1			
	火遊び	1			1		12.0			3,016		1
	油鍋											
	石油燃焼器具	2		1		1	74.8			15,481		3
	電気関係	5		1		4	43.1			13,704		
	ガス器具	3				3	1.0			53		1
	放火											
	放火の疑い	1	1		2		106.4			17,612	1	
	その他	5			1	4	46.3			21,850		1
	不明											
	計	18	1	2	4	13	283.6		0.1	71,716	1	6
林野	放火											
	その他											
	計											
車両	電気関係	4						3		476		
	放火											
	放火の疑い											
	その他	1						1		337		
	不明	1						1		460		
	計	6						5		1,273		
その他	たばこ	1							3.3			
	たき火											
	放火											
	放火の疑い	2							18.1			
	その他	4						5	952.0	765		
	不明	1							580.0			
	計	8						5	1,553.4	765		
合計		32								73,754	1	6

３年間の火災原因

区分	たばこ	たき火	火遊び	油鍋	石油燃焼器具	電気機器配線器具	ガス器具	放火・放火の疑い	その他	不明	計
令和3年	7		2			6		4	2	4	25
令和4年	4	2	1	1		6	2	3	4	5	28
令和5年	2		1		2	9	3	3	10	2	32

令和５年中の火災原因

5　救　急

救急出動件数の推移

事故種別ごとの推移

区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	救急支援
令和元年	10	1	2	561	64	51	1,338	29	47	5,600	695	8,398	1,532
令和２年	17		4	418	78	20	1,305	24	54	4,996	653	7,569	1,295
令和３年	8			463	62	33	1,387	23	71	5,668	755	8,470	1,287
令和４年	16		4	527	89	48	1,555	30	56	7,307	773	10,405	1,287
令和５年	18	1	1	532	80	47	1,717	26	74	7,578	769	10,843	1,738

令和５年中の救急内訳

署別救急活動

区分		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
中央消防署	出動件数	6		1	106	17	9	362	5	13	1,566	139	2,224
	救護人員	2			107	17	8	350	5	11	1,481	94	2,075
東消防署	出動件数	3			102	12	10	309	5	12	1,380	181	2,014
	救護人員	1			103	12	9	294	5	12	1,309	137	1,882
南消防署（2隊）	出動件数	4	1		162	19	14	439	8	15	2,069	265	2,996
	救護人員	1			160	19	13	422	7	9	1,948	204	2,783
北消防署（2隊）	出動件数	5			162	31	14	593	8	32	2,496	178	3,519
	救護人員	3			160	31	13	573	7	27	2,336	107	3,257
予備救急	出動件数					1		14		2	67	6	90
	救護人員					1		14		2	53	2	72
計	出動件数	18	1	1	532	80	47	1,717	26	74	7,578	769	10,843
	救護人員	7			530	80	43	1,653	24	61	7,127	544	10,069

救急車両の運行

区分	出動件数	走行状況（km）		所要時間（分）	
		延べ	1件当たり	延べ	1件当たり
中央救急1	2,224	28,294.3	12.7	201,053	90
東救急1	2,014	25,424.1	12.6	163,700	81
南救急1	1,506	17,809.3	11.8	127,447	85
南救急2	1,490	17,513.4	11.8	126,677	85
北救急1	1,779	23,815.2	13.4	155,081	87
北救急2	1,740	24,115.0	13.9	152,049	87
予備救急	90	1,302.7	14.5	9,682	108
計	10,843	138,274.0	12.8	935,689	86

月別救急活動

区分		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
1月	出動件数	1			42	3	2	148	1	5	669	60	931
	救護人員				39	3	2	144	1	4	589	39	821
2月	出動件数	2			40	6	4	112	1	6	526	71	768
	救護人員	3			40	6	4	109	1	6	488	47	704
3月	出動件数	1			34	9	2	150	1	8	579	63	847
	救護人員	1			36	9	1	141		7	548	50	793
4月	出動件数				43	4	3	132	4	10	555	46	797
	救護人員				40	4	3	127	4	7	531	37	753
5月	出動件数	1			45	4	7	149	1	14	600	74	895
	救護人員	1			53	4	7	146	1	13	570	56	851
6月	出動件数	3	1		39	5	4	131	3	4	670	73	933
	救護人員				40	5	4	129	3	4	637	54	876
7月	出動件数	1			43	11	1	113	4	4	796	73	1,046
	救護人員				42	11	1	109	4	2	753	52	974
8月	出動件数	2			45	9	8	166	1	5	786	76	1,098
	救護人員	1			47	9	7	155	1	4	735	48	1,007
9月	出動件数	1			39	7	7	142	2	4	644	45	891
	救護人員				44	7	6	135	2	3	602	31	830
10月	出動件数				61	6	3	149	5	5	571	57	857
	救護人員				55	6	2	144	5	5	544	40	801
11月	出動件数	4			47	9	4	156	2	3	542	55	822
	救護人員				44	9	4	151	1	3	521	35	768
12月	出動件数	2		1	54	7	2	169	1	6	640	76	958
	救護人員	1			50	7	2	163	1	3	609	55	891
計	出動件数	18	1	1	532	80	47	1,717	26	74	7,578	769	10,843
	救護人員	7			530	80	43	1,653	24	61	7,127	544	10,069

時間別救急活動

区　　分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
0 ～ 2 時	1			7	1		67	4	3	384	22	489
2 ～ 4 時	2			1			34	1	8	320	18	384
4 ～ 6 時	1			6			43	1	7	361	16	435
6 ～ 8 時	1			33	2		109	1	4	526	20	696
8 ～ 10 時	3			65	11	8	204	1	8	826	57	1,183
10 ～ 12 時			1	85	22	15	213		4	882	135	1,357
12 ～ 14 時	3			53	10	7	195	2	5	814	136	1,225
14 ～ 16 時	1			71	14	5	173	2	7	701	106	1,080
16 ～ 18 時	2	1		92	5	3	228	2	7	760	126	1,226
18 ～ 20 時				66	7	3	200	5	9	802	52	1,144
20 ～ 22 時	4			32	5	6	161	5	8	674	50	945
22 ～ 24 時				21	3		90	2	4	528	31	679
計	18	1	1	532	80	47	1,717	26	74	7,578	769	10,843

現場到着所要時間

区　　分	3分未満	3分～5分	5分～10分	10分～20分	20分以上	計	平均
急　病	18	40	3,869	3,490	161	7,578	10.5
交通事故	1	3	261	240	27	532	11.2
一般負傷	2	9	861	812	33	1,717	10.6
その他	3	15	567	397	34	1,016	10.6
計	24	67	5,558	4,939	255	10,843	10.6

１１９番通報から現場に到着するまでに要した時間。

年齢別救護

区　　分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
生後28日以内							2			8	13	23
生後29日～6歳				31			192			813	62	1,098
7歳～17歳	1			55		21	73	1	8	289	14	462
18歳～64歳	4			290	66	19	264	17	42	2,022	151	2,875
65歳以上	2			154	14	3	1,122	6	11	3,995	304	5,611
計	7			530	80	43	1,653	24	61	7,127	544	10,069

事故種別傷病程度

区　　分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計	比率（%）
死亡				1			9		6	109		125	1.2%
重症				16	3	1	48		9	388	84	549	5.5%
中等症	2			114	26	16	531	1	19	3,088	420	4,217	41.9%
軽症	5			399	51	26	1,065	23	27	3,542	40	5,178	51.4%
その他													
計	7			530	80	43	1,653	24	61	7,127	544	10,069	100%

高速道路出動件数

区分		火災	自然災害	交通事故	労働災害	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
令和3年	出動件数			12		1			2	3	18
	搬送人員			12		1			1		14
令和4年	出動件数			21	1				3	1	26
	搬送人員			23	1				3		27
令和5年	出動件数	4		25					6	1	36
	搬送人員	1		26					5		32

6　予　防

防火対象物の現況

（件）

項	防火対象物＼署別		中央消防署	東消防署	南消防署	北消防署	計
1	イ	観覧場		1			1
	ロ	公会堂・集会場	24	20	18	28	90
2	イ	ナイトクラブ					
	ロ	遊技場	2		3	1	6
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗					
	ニ	カラオケボックス			2	1	3
3	イ	待合・料理店	2		1	3	6
	ロ	飲食店	38	11	29	27	105
4	百貨店・マーケット・物品販売業		54	22	59	41	176
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1	1			2
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	700	405	759	542	2,406
6	イ	病院・診療所	16	3	11	26	56
	ロ	老人ホーム	25	20	10	28	83
	ハ	老人デイサービス・保育所	61	24	39	38	162
	ニ	幼稚園・特別支援学校	12	12	4	5	33
7	学校		38	37	19	47	141
8	図書館・博物館		1		2		3
9	イ	蒸気浴場		1			1
	ロ	公衆浴場	1			1	2
10	車両の停車場		1		1	1	3
11	神社・寺院・教会		12	13	8	9	42
12	イ	工場・作業場	73	19	26	44	162
13	イ	自動車車庫	30	11	10	5	56
14	倉庫		67	18	27	42	154
15	その他の事業所		151	31	59	62	303
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	218	33	119	91	461
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	88	14	71	40	213
17	重要文化財等		1	1	1	1	4
18	延長50m以上のアーケード					3	3
計			1,616	697	1,278	1,086	4,677

中高層建築物の現況

区分 署別	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階以上	計	うち31mを超える建築物
中央消防署	65	42	27	27	21	20	19	7	6	5	22	261	45
東消防署	33	11	4	3	6	5	1	1	1			65	3
南消防署	84	44	18	18	11	5	8	4	3		2	197	9
北消防署	57	21	6	1		1		2			1	89	3
計	239	118	55	49	38	31	28	14	10	5	25	612	60

査察の実施状況

項	防火対象物		署別 予防課	中央消防署	東消防署	南消防署	北消防署	計
1	観覧場・集会場		2	4	8	3	2	19
2	遊技場		1					1
3	料理店・飲食店		1	7	8	7	3	26
4	マーケット・物品販売業		14	5	2	2	7	30
5	イ	ホテル・旅館	1					1
	ロ	共同住宅		89	31	42	10	172
6	イ	病院・診療所	15					15
	ロ	老人ホーム	16					16
	ハ	老人デイサービス・保育所	32					32
	ニ	幼稚園･特別支援学校	1					1
7	学校			2	1	5	2	10
8	図書館・博物館					1		1
9	公衆浴場		1					1
10	車両等の停車場							
11	神社・寺院・教会			4	10	1	1	16
12	工場・作業場			22	2	7	4	35
13	自動車車庫			2	6	1		9
14	倉庫			11	3	3	7	24
15	その他の事業所			16	9	12	4	41
16	複合用途		65	38	3	23	21	150
17	重要文化財等							
18	延長５０m以上のアーケード							
	危険物施設		57					57
	少量危険物施設			14				14
	住宅防火診断							
	単身高齢者世帯防火診断		16					16
計			222	214	83	107	61	687

建築同意

防　火　対　象　物	件　数	消防用設備等を必要とするもの	防火管理者を必要とするもの
専用住宅	15		
劇場・集会場等			
飲食店・店舗	5	5	3
共同住宅	72	72	9
病院・診療所等	1	1	1
老人福祉施設等	2	2	2
保育所・幼稚園・学校	7	7	7
工場・作業場・倉庫	9	5	3
事務所	9	6	4
複合用途建物	15	15	12
その他	74	14	11
計	209	127	52

同意件数の推移

令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
273件	208件	208件	171件	209件

危険物施設の現況

区分 / 署別	製造所	貯蔵所						取扱所			計
		屋内	屋外	屋内タンク	屋外タンク	地下タンク	移動タンク	給油	一般	販売	
中央消防署		1			1	14	10	8	8		42
東消防署			2			5	17	2	3		29
南消防署		1				2	1	3	1		8
北消防署	1	7		2	2	16	1	8	16	1	54
計	1	9	2	2	3	37	29	21	28	1	133

危険物施設の許可

区分	製造所	貯蔵所						取扱所			計
		屋内	屋外	屋内タンク	屋外タンク	地下タンク	移動タンク	給油	一般	販売	
設置許可									1		1
変更許可						1		5	2		8
計						1		5	3		9
設置の完成検査						1			2		3
変更の完成検査								5	1		6
計						1		5	3		9

各種の届出

(1) 消防法施行令

区分		件数	区分		件数
消防用設備等	着工届	276	消防用設備等点検結果報告書		1,680
	設置届	766	消防計画書	新規届	98
防火管理者	選任届	358		変更届	321
	解任届	279	計		3,778

(2) 危険物の規制に関する政令

区分	件数	区分		件数
譲渡引渡届	1	危険物保安監督者	選任届	3
廃止届	2		解任届	1
仮使用承認申請書	8	品名数量・指定数量倍数変更届		1
予防規程制定変更認可申請書	3	仮貯蔵又は仮取扱承認申請書		2
資料提出書	43	計		88
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始届	24			

(3) 火災予防条例

区分	件数	区分	件数
防火対象物使用開始届	323	火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある行為の届	58
炉又は厨房設備設置届	4	煙火打上げ又は仕掛け届	16
温風暖房機設置届		催物開催届	19
ボイラー又は給湯湯沸設備設置届	9	露店等の開設届出書	74
乾燥設備又はサウナ設備設置届	1	水道断水又は減水届	
ヒートポンプ冷暖房機設置届	9	道路工事届	135
火花を生ずる設備設置届		禁止行為の解除届	4
放電加工機設置届		指定洞道等届	
発電設備設置届	7	指定数量未満の危険物・指定可燃物貯蔵取扱届	17
変電設備設置届	25		
蓄電池設備設置届	7	指定数量未満の危険物・指定可燃物貯蔵廃止届	6
急速充電設備設置届	1		
ネオン管灯設備設置届			
水素ガスを充填する気球の設置届		計	715

防火対象物定期点検報告制度

項　別	防火対象物	対象物数	特例認定数
1項－イ	観覧場	1	
1項－ロ	公会堂・集会場	15	
2項－イ	ナイトクラブ		
2項－ロ	遊技場	2	
2項－ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗		
2項－二	カラオケボックス	2	
3項－イ	待合・料理店		
3項－ロ	飲食店	2	
4　項	マーケット・物品販売業	30	1
5項－イ	旅館・ホテル		
6項－イ	病院・診療所	4	
6項－ロ	老人ホーム	2	
6項－ハ	老人デイサービス	2	
6項－二	幼稚園・特別支援学校	6	
9項－イ	公衆浴場	1	
16項－イ	複合用途	40	
16項の2	地下街		
計		107	1

7　活　動

火災活動

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災件数		3	1	2	2	1	2	2	5	1	1	7	5	32
出動回数	中央消防署	1	1	1		1	2		3	1		5	4	19
	東消防署	1	1	2	1	1	1		2		1	4	2	16
	南消防署		1	1	1		2	1				2	1	9
	北消防署	3				1	1	1	5	1		4		16
	計	5	3	4	2	3	6	2	10	2	1	15	7	60
出動台数	中央消防署	5	5	5		4	9		10	4		16	9	67
	東消防署	2	3	3	2	1	2		3		2	9	3	30
	南消防署		1	3	2		3	2				5	2	18
	北消防署	6				2	2	1	8	2		6		27
	計	13	9	11	4	7	16	3	21	6	2	36	14	142
出動人員	中央消防署	20	15	14		13	42		33	12		55	28	232
	東消防署	6	10	9	6	3	6		9		6	28	9	92
	南消防署		4	10	6		11	6				15	6	58
	北消防署	19				6	7	3	24	6		18		83
	計	45	29	33	12	22	66	9	66	18	6	116	43	465
放水台数	中央消防署	2	2	2			2							8
	東消防署		1	2	1							1	1	6
	南消防署			1			2	1						4
	北消防署	2					2	1						5
	計	4	3	5	1		6	2				1	1	23
他市への応援出動	中央消防署							1	1			1	1	4
	東消防署				1	1	1	1	1		1			6
	南消防署	1												1
	北消防署	1	1	1			1	1	1				1	7
	計	2	1	1	1	1	2	3	3		1	1	2	18

火災防ぎょ活動

区　分	現場までの走行距離総数（ｋｍ）	使　用ホース（本）	放　水　時　間　（分）				
			消 火 栓	防火水槽	積 載 水	そ の 他	計
中央消防署	254.6	58	923	454	26	240	1,643
東 消 防 署	99.8	40	60	409	3	123	595
南 消 防 署	35.5	19	186	352	9		547
北 消 防 署	84.5	37	388	10	4	340	742
計	474.4	154	1,557	1,225	42	703	3,527

火災以外の活動

区　　分	令和3年		令和4年		令和5年	
	件　数	出動人員	件　数	出動人員	件　数	出動人員
危　険　排　除	115	707	82	406	80	416
緊　急　確　認	193	1,308	223	1,888	240	1,557
怪 煙 等 調 査	4	15	4	36	8	43
救　急　支　援	1,287	4,127	1,537	4,840	1,720	5,415
そ　の　他	41	284	15	144	11	52
計	1,640	6,441	1,861	7,314	2,059	7,483

消防防災思想の普及

区　　分		自 治 会	自主防災組織	事業所	学校	幼稚園保育園	その他	計
訓 練 実 施 回 数		21	16	56	37	41	88	259
訓練の内訳	消 火 訓 練	17	14	29	12	1	47	120
	避 難 訓 練	9	3	29	12		44	97
	救 護 訓 練	13	12	10	11	10	33	89
	映　画　会	1		6	1			8
	講　話　会	4	1	6	5	1	11	28
	上級救命講習				2		2	4
	普通救命講習	1		15	5	18	17	56
	救 急 講 習 会			2	8	9	9	28
	広 報 紙 等							
	救 助 訓 練							
	通 報 訓 練	6	5	29	12		44	96
	そ　の　他	10	23	13	10	4	26	86
	計	61	58	139	78	43	233	612

起震車の活用

区　分	内　　訳　　（回）						体験人員（人）
	自 治 会 自主防災会	事業所	学　校	幼稚園 保育園	その他	計	
令　和　元　年	18	11	6	1	23	59	4,049
令　和　2　年			3		2	5	471
令　和　3　年	4	2			3	9	250
令　和　4　年	7	5	1	4	2	19	1,412
令　和　5　年	15	9	4	1	12	41	2,490

救助出動件数の推移

事故種別ごとの推移

区分	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
令和元年		20	2		2	64			19	107
令和2年	3	17	6	2	1	53			21	103
令和3年	1	17		1	1	90			22	132
令和4年		16	4		2	86	1		20	129
令和5年	2	18	2		3	72	3		29	129

令和５年中の救助内訳

救助活動

区分		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
出動件数		2	18	2		3	72	3		29	129
活動件数		2	15	2		3	62	2		13	99
救出人員		1	21	1		3	48	1		10	85
出動人員	救助隊員	12	74	11		13	271	12		111	504
	兼任救助隊員	3	6				47			13	69
	救急隊員	6	67	6		9	209	9		89	395
	消防隊員	60	187	44		31	644	28		263	1257
	計	81	334	61		53	1171	49		476	2,225
活動人員	救助隊員	12	45	11		4	149	8		37	266
	兼任救助隊員	3					30			6	39
	救急隊員		61	3		9	137	3		36	249
	消防隊員	47	134	40		23	477	25		103	849
	計	62	240	54		36	793	36		182	1,403
出動車両	救助工作車	2	18	2		3	71	3		28	127
	救急車	2	22	2		3	72	3		30	134
	その他	15	62	14		10	223	9		90	423
	計	19	102	18		16	366	15		148	684
活動車両	救助工作車	2	9	2		1	39	2		9	64
	救急車		19	1		3	42	1		11	77
	その他	12	42	12		6	157	8		36	273
	計	14	70	15		10	238	11		56	414

8　通信・気象

松戸市・市川市・野田市・習志野市・柏市・流山市・八千代市・我孫子市・鎌ケ谷市・浦安市
ちば北西部
消防指令センター
消防指令管制システム
10市をひとつに結び、市民の安全をまもります。
火消し
ちば北西部
流山市消防本部
八千代市消防本部
我孫子市消防本部
鎌ケ谷市消防本部
浦安市消防本部
松戸市消防局
市川市消防局
野田市消防本部
習志野市消防本部
柏市消防局

通 信 系 統 図

緊急通報システム
Ｎｅｔ１１９
市民
ちば北西部消防指令センター（松戸市消防局内）
消防本部消防防災課（基地局無線装置）
Ｊ－ALERT
Em－net
消防庁防災情報システム
千葉県防災行政無線
千葉県防災情報システム
市防災行政無線
ＭＣＡ無線
本部・中央消防署
東消防署
南消防署
北消防署
消防団本部
２２個分団
※車両含む
医療機関
関係機関
車両積載携帯電話
中央消防署指揮隊 1
中央消防署消防隊 2
中央消防署救急隊 1
特別救助隊 1
東消防署消防隊 2
東消防署救急隊 1
南消防署消防隊 2
南消防署救急隊 2
北消防署消防隊 2
北消防署救急隊 2
車両積載スマートフォン
中央消防署指揮隊 1
中央消防署救急隊 1
東消防署救急隊 1
南消防署救急隊 2
北消防署救急隊 2
移動局無線装置
所　属 車載 携帯 可搬 署活
本部 3 1 2 4
中央消防署 8 6 2 15
東消防署 4 4 1 7
南消防署 6 4 1 7
北消防署 5 4 1 7
消防団 24
消防総務課
予防課
消防防災課
中央消防署
東消防署
南消防署
北消防署
防災危機管理課
凡例
通報
指令
無線
加入
インターネット
内線
専用線（VPN含む）
衛星通信

消防無線機の配置車両

区分		呼出名称	種別	整備年月日
消防防災課		遠制流山消防	基地局	H24.12.7
消防本部	指令車	流山指令 1	移動局	H24.12.7
	査察車	流山査察 1	移動局	H24.12.7
	査察調査車	流山査察 2	移動局	H24.12.7
中央消防署	指揮車	流山指揮 1	移動局	H24.12.7
	普通ポンプ車	流山中央ポンプ 1	移動局	H24.12.7
	化学車	流山中央化学 1	移動局	H24.12.7
	救助工作車	流山中央救助 1	移動局	H24.12.7
	梯子車	流山中央梯子 1	移動局	H24.12.7
	大型水槽車	流山大型水槽 1	移動局	H24.12.7
	高規格救急車	流山中央救急 1	移動局	H24.12.7
	高規格救急車	流山救急 2	移動局	H24.12.7
東消防署	水槽付ポンプ車	流山東水槽 1	移動局	H24.12.7
	普通ポンプ車	流山東ポンプ 1	移動局	H24.12.7
	高規格救急車	流山東救急 1	移動局	H24.12.7
	資機材搬送車	流山資材 1	移動局	H24.12.7
南消防署	水槽付ポンプ車	流山南水槽 1	移動局	H24.12.7
	水槽付ポンプ車(予備車)	流山中央水槽 1	移動局	H24.12.7
	普通ポンプ車	流山南ポンプ 1	移動局	H24.12.7
	けん引車（ボートトレーラー用）	流山指揮 2	移動局	H24.12.7
	高規格救急車	流山南救急 1	移動局	H24.12.7
	高規格救急車	流山南救急 2	移動局	H24.12.7
北消防署	水槽付ポンプ車	流山北水槽 1	移動局	H24.12.7
	普通ポンプ車	流山北ポンプ 1	移動局	H24.12.7
	高規格救急車	流山北救急 1	移動局	H24.12.7
	高規格救急車	流山北救急 2	移動局	R2.4.1
	高規格救急車（予備車）	流山救急 1	移動局	H24.12.7

火災・救急出動覚知別内訳（第１報のみ）

区	分	119	加入電話	駆け込み	警察	自己	福祉	その他	計
1月	火 災	2						1	3
	救 急	904	7	2	14			4	931
2月	火 災	1							1
	救 急	743	4	2	13	1	2	3	768
3月	火 災	2							2
	救 急	831	8		7			1	847
4月	火 災	1						1	2
	救 急	776	1	1	15	2		2	797
5月	火 災							1	1
	救 急	864	3		22		1	5	895
6月	火 災	2							2
	救 急	908	6	2	15			2	933
7月	火 災	1			1				2
	救 急	1,013	1	1	22	3		6	1,046
8月	火 災	3						2	5
	救 急	1,065	4	1	24	1		3	1,098
9月	火 災	1							1
	救 急	858	3	1	21	3		5	891
10月	火 災				1				1
	救 急	820			27	3		7	857
11月	火 災	2			2			3	7
	救 急	793	5	4	18			2	822
12月	火 災	1			1			3	5
	救 急	917	1	4	27	1		8	958
計	火 災	16			5			11	32
	救 急	10,492	43	18	225	14	3	48	10,843

病院紹介状況

区　分	日	月	火	水	木	金	土	計
1月	50	33	27	6	10	20	28	174
2月	27	8	17	10	10	16	25	113
3月	14	11	18	14	18	10	23	108
4月	39	8	7	13	7	18	29	121
5月	36	16	18	25	33	17	19	164
6月	30	8	8	8	22	13	34	123
7月	33	18	7	6	13	8	29	114
8月	30	16	24	15	21	28	27	161
9月	72	7	22	14	10	11	30	166
10月	37	24	17	12	12	14	13	129
11月	31	9	19	20	21	16	21	137
12月	72	9	11	17	15	18	28	170
計	471	167	195	160	192	189	306	1,680

9　消　防　団

消防団の組織

団員の実員

区分	団長	副団長	方面隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
実員 （うち女性団員）	1	3	6	23 （ 1 ）	22	23 （ 1 ）	46 （ 2 ）	151 （ 6 ）	275 （ 10 ）

機械器具置場の現況

（昭和＝S、平成＝H、令和＝R）

区　　分	所　　在　　地	建物構造	延 面 積	建築年月日
消 防 団 本 部	三輪野山1-994	消防本部に併設		S49.5.24
第　1　分　団	流山5-34-2	鉄骨２階建	87.83㎡	H4.2.28
第　2　分　団	流山2-341-2	木造２階建	53.83㎡	H29.3.31
第　3　分　団	加5-1673	木造平屋建	57.97㎡	R元.10.18
第　4　分　団	南流山8-24-3	木造平屋建	57.96㎡	H18.3.24
第　5　分　団	鰭ヶ崎429	木造２階建	53.82㎡	H11.3.1
第　6　分　団	平和台4-74-4	木造２階建	53.82㎡	H9.3.25
第　7　分　団	加2-12-7	木造２階建	57.96㎡	R2.3.25
第　8　分　団	三輪野山3-2-13	木造２階建	57.96㎡	R5.12.21
第　10　分　団	西深井339-4	木造２階建	54.67㎡	H18.12.11
第　11　分　団	東深井313	木造２階建	54.82㎡	H6.3.8
第　12　分　団	平方170-7	木造２階建	53.83㎡	H4.3.30
第　13　分　団	富士見台1-28	木造２階建	57.96㎡	R3.3.29
第　14　分　団	現在建て直し中のため 北消防署（美原2-139-1）に車両等を配備			令和６年度竣工予定
第　15　分　団	下花輪779-3	木造２階建	53.83㎡	H29.3.31
第　16　分　団	名都借8-1	木造２階建	57.96㎡	H22.3.19
第　17　分　団	（仮設）　前平井104	木造２階建	120.04㎡	H22.12.25
第　18　分　団	長崎2-453-1	木造２階建	53.82㎡	H8.3.27
第　19　分　団	駒木158-1	木造２階建	57.96㎡	H26.2.14
第　20　分　団	駒木台314-11	木造２階建	57.96㎡	H24.3.26
第　21　分　団	東初石3-129-19	木造２階建	57.96㎡	H20.3.18
第　22　分　団	江戸川台東3-2	木造２階建	57.96㎡	H23.1.26
第　23　分　団	松ヶ丘1-456-8	木造２階建	59.80㎡	H21.2.2

団員の配置

区　　分	団長	副団長	方面隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
消防団本部 （うち女性団員）	1	3	6	1 （1）		1 （1）	2 （2）	6 （6）	20 （10）
第1分団				1	1	1	2	3	8
第2分団				1	1	1	2	9	14
第3分団				1	1	1	2	13	18
第4分団				1	1	1	2	5	10
第5分団				1	1	1	2	3	8
第6分団				1	1	1	2	5	10
第7分団				1	1	1	2	9	14
第8分団				1	1	1	2	7	12
第10分団				1	1	1	2	6	11
第11分団				1	1	1	2	5	10
第12分団				1	1	1	2	13	18
第13分団				1	1	1	2	7	12
第14分団				1	1	1	2	3	8
第15分団				1	1	1	2	8	13
第16分団				1	1	1	2	7	12
第17分団				1	1	1	2	7	12
第18分団				1	1	1	2	4	9
第19分団				1	1	1	2	5	10
第20分団				1	1	1	2	6	11
第21分団				1	1	1	2	7	12
第22分団				1	1	1	2	6	11
第23分団				1	1	1	2	7	12
計	1	3	6	23	22	23	46	151	275

団員の年齢

区分		団長	副団長	方面隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
年齢	20歳未満								2	2
	20歳以上30歳未満							1	14	15
	30歳以上40歳未満				2	5	5	9	23	44
	40歳以上50歳未満			1	12	12	14	22	47	108
	50歳以上60歳未満		3	4	7	5	4	14	51	88
	60歳以上	1		1	2				14	18
	計	1	3	6	23	22	23	46	151	275
	平均年齢	61.0	57.7	55.2	48.3	43.4	43.5	43.9	45.8	45.7

団員の勤務年数

区分		団長	副団長	方面隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
勤務年数	5年未満							3	65	68
	5年以上10年未満				1	9	10	21	16	57
	10年以上15年未満				8	4	9	6	13	40
	15年以上20年未満			1	6	3	3	7	9	29
	20年以上25年未満		1		4	5	1	3	22	36
	25年以上30年未満			2	4			4	9	19
	30年以上	1	2	3		1		2	17	26
	計	1	3	6	23	22	23	46	151	275

団員の職業別構成

職業構成													
農業	林鉱業	建設業	製造業	電気・ガス熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売・飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業	公務員	JA・郵政等	その他	計
12	1	47	27	8	25	29	4	5	55	16	24	22	275

就業形態				
被用者	自営業者	家族従業員	学生	その他
180	56	24	3	12

年齢別入団員

区分	消防団本部	第1方面隊	第2方面隊	第3方面隊	第4方面隊	第5方面隊	第6方面隊	計
18歳 ～ 25歳		1			1	2		4
26歳 ～ 30歳		1	1	1	2			5
31歳 ～ 35歳				1				1
36歳 ～ 40歳			2	2		1		5
41歳以上	1				1	1		3
計	1	2	3	4	4	4		18

勤続年数別退団員

区分	消防団本部	第1方面隊	第2方面隊	第3方面隊	第4方面隊	第5方面隊	第6方面隊	計
5年未満	1	3				3		7
5年以上 ～ 10年未満	1	1			1	1		4
10年以上 ～ 15年未満		2					1	3
15年以上 ～ 20年未満					3	1		4
20年以上	1		1	1	1	1		5
計	3	6	1	1	5	6	1	23

消防団の活動

区　分	火災等		風水害		警戒		訓練		その他		計	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
消防団本部 （うち女性団員）	6	15			22 (1)	95 (1)	74 (8)	182 (33)	56 (45)	159 (99)	158 (54)	451 (133)
第 1 分 団	2	5			16	73	14	82	5	12	37	172
第 2 分 団	2	20			7	88	13	88	3	7	25	203
第 3 分 団	2	14			11	84	12	104	3	9	28	211
第 4 分 団	2	6			12	87	13	86	5	15	32	194
第 5 分 団	2	7			14	66	13	62	7	16	36	151
第 6 分 団	2	7			13	80	15	78	6	23	36	188
第 7 分 団	2	17			17	96	12	75	3	7	34	195
第 8 分 団	2	8			15	61	12	71	3	5	32	145
第 10 分 団					12	63	14	66	5	13	31	142
第 11 分 団					13	55	14	45	5	13	32	113
第 12 分 団					12	89	13	107	3	11	28	207
第 13 分 団					19	82	13	78	3	10	35	170
第 14 分 団					16	60	13	61	6	18	35	139
第 15 分 団					14	74	13	89	3	10	30	173
第 16 分 団					15	74	4	22	3	8	22	104
第 17 分 団	1	4			8	74	4	28	3	9	16	115
第 18 分 団	3	10			13	80	22	98	3	7	41	195
第 19 分 団	2	10			13	76	14	85	3	8	32	179
第 20 分 団	2	9			10	73	42	324	4	8	58	414
第 21 分 団	2	11			19	100	19	100	5	9	45	220
第 22 分 団					15	92	14	78	6	20	35	190
第 23 分 団					15	95	4	23	3	6	22	124
計	32	143			321	1,817	381	2,032	146	403	880	4,395